

精密工学会関西支部第157回見学会ご案内

令和元年中の24時間死亡者数が3,215人と戦後最少となった一方で、高齢ドライバーが運転する車のペダル踏み間違いなどによる悲惨な事故が後を絶ちません。少子高齢化に伴って、自動車をはじめとした陸上交通において、高齢ドライバーによる事故や配送ドライバーの不足など様々な問題が顕在化してきています。政府は交通事故死傷者数の削減、自動車が主因の一つである大気汚染などの環境基準の達成、二酸化炭素排出量の削減、公共輸送システムの安全性向上などを目標に政策を進めています。

今回は、国土交通省所管の独立行政法人自動車技術総合機構の研究所で、試験研究を通じて陸上交通に係る安全・環境に関わる国の施策立案・基準策定を技術的に支援していくこと等を目指して種々の課題に取り組んでいる交通安全環境研究所の見学会を企画致しました。歩行者や自転車など交通弱者との衝突安全に関する先端の研究について講演いただき、鉄道の安全性評価シミュレータや実走行時の燃費計測モードの策定に関する施設を見学させていただきます。これからの社会を支える陸上交通の課題を展望する良い機会になるものと考えていますので、多数の皆さんのご参加を願っています。特にこれからの社会を担われる若い方々のご参加を期待しています。

- 日 時 : 令和2年3月16日(月) 13時30分～17時30分
見 学 先 : 独立行政法人自動車技術総合機構 交通安全環境研究所
〒182-0012 東京都調布市深大寺東町 7-42-27
TEL(0422)41-3207 FAX(0422)41-3233
- 内 容 : 13:30～14:00 挨拶, 交通研概要説明
14:00～14:55 講演
講演① 「衝突安全について」
講演者 自動車安全研究部主席研究員 松井靖浩
講演② 「一品生産に特化した全自動CAMソフトウェアの開発」
講演者 神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻 西田 勇
14:55～15:45 名刺交換会
15:45～17:00 研究所見学
振動強度実験棟(衝突安全), 交通システム安全性研究棟(安全性評価シミュレータ), 大型自動車排気研究棟(大型シャシダイナモメータ・PEMS)
17:00～17:30 質疑応答
17:30 閉会
- 定 員 : 20名
申込締切 : 令和2年2月21日(金)
申込方法 : E-mailにて「第157回見学会申込み」と題記し、氏名・勤務先・役職
連絡先住所・電話番号、会員資格・会員番号・E-mailを明記の上、当
支部宛お申し込み下さい。

公益社団法人 精密工学会 関西支部

E-mail : jspe_kansai@jspe.or.jp